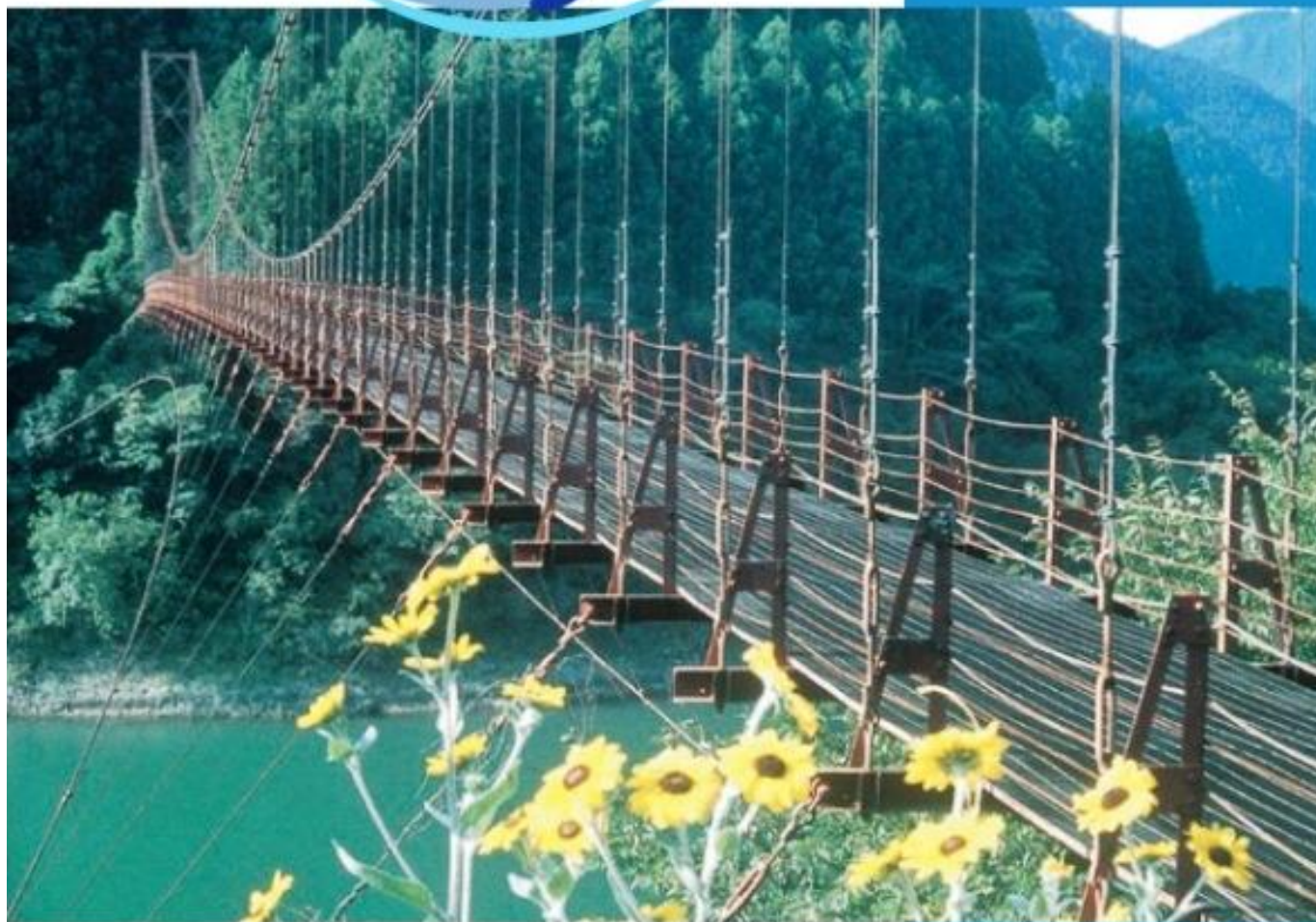


有田川町議会広報  
**かわら版**

平成18年8月発行

# 第2号

発行 有田川町議会  
住所 和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野2018番地4  
郵便番号 643-0021  
電話 0737-52-2111  
FAX 0737-52-3210



盛夏(ダム湖にかかる龍王橋) / 写真提供: 松田美江子氏

## もくじ

議案および主な質疑	2 ~ 5
町長にもの申す(一般質問)	6 ~ 19
意見書等	20



## 一般会計

## 補正予算 19 億円

地域交流センターなど、  
まちづくり交付金事業に

5 億 8,880 万あまり

別表① 平成17年度有田川町補正予算（専決処分）

(千円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	8,953,000	△436,588	8,516,412
住宅新築資金等事業特別会計	11,872	△164	11,708
国民健康保険事業特別会計	1,256,120	△96,353	1,159,767
老人保険事業特別会計	1,440,884	△25,199	1,415,685
介護保険事業特別会計	784,457	△146,657	637,800
簡易水道事業特別会計	756,074	△21,426	734,648
農業集落排水事業特別会計	262,115	△15,598	246,517
簡易排水事業特別会計	2,430	△389	2,041
浄化槽事業特別会計	34,238	△2,983	31,255
かなや明恵峡温泉特別会計	114,287	△6,855	107,432
特別養護老人ホーム等事業特別会計	180,085	△10,742	169,343
公共下水道事業特別会計	1,420,772	△5,168	1,415,604
合計	15,216,334	△768,122	14,448,212

平成18年第2回定例会は6月13日から27日までの日程で開催されました。本定例会には条例制定、17年度予算、18年度補正予算、工事請負契約などの議案が提案され、それぞれ審議しすべて原案の通り可決されました。

○平成17年度補正予算（専決処分）

（別表①参照）

○平成18年度補正予算

（別表②参照）

一般会計補正予算質疑

【質疑】 長期総合計画策定は委託せず町職員で計画を立てられないのか。

【企画課長】 プロポーザル形式（業者からの提案書を見て検討）で入札をかけていく。

【質疑】 まちづくり事業の中で水辺の公園事業が計画されているが、その近くにポケットパークがあるのには必要か。

【町長】 ポケットパークはあくまで計画の段階で近くの住民の方々と話し合いをもちながらできるだけ経費のいらぬ形でやっていく。

農業集落排水特別会計質疑

【質疑】 加入率が約60%と低い、低利の融資制度など考えるべきでないか。

【町長】 加入していただけけるよう低利の利子補給や貸し出しなどを検討し、すみやかにつなげるよう考えたい。

水道事業給水条例についての質疑

【質疑】 料金を企業会計に合わせた理由は。加入分損金は旧金屋と比べてどうか。住居と店舗が同じ場合の水道料金は、家庭用と営業用のどちらで調整するのか。超過料金を11㎡から30㎡、30㎡から50㎡の分割設定を。公営企業法から簡易水道をなぜ除いているのか。有収率（配水量に対して料金収入の対象となる割合）の引き上げ対策はどうか。

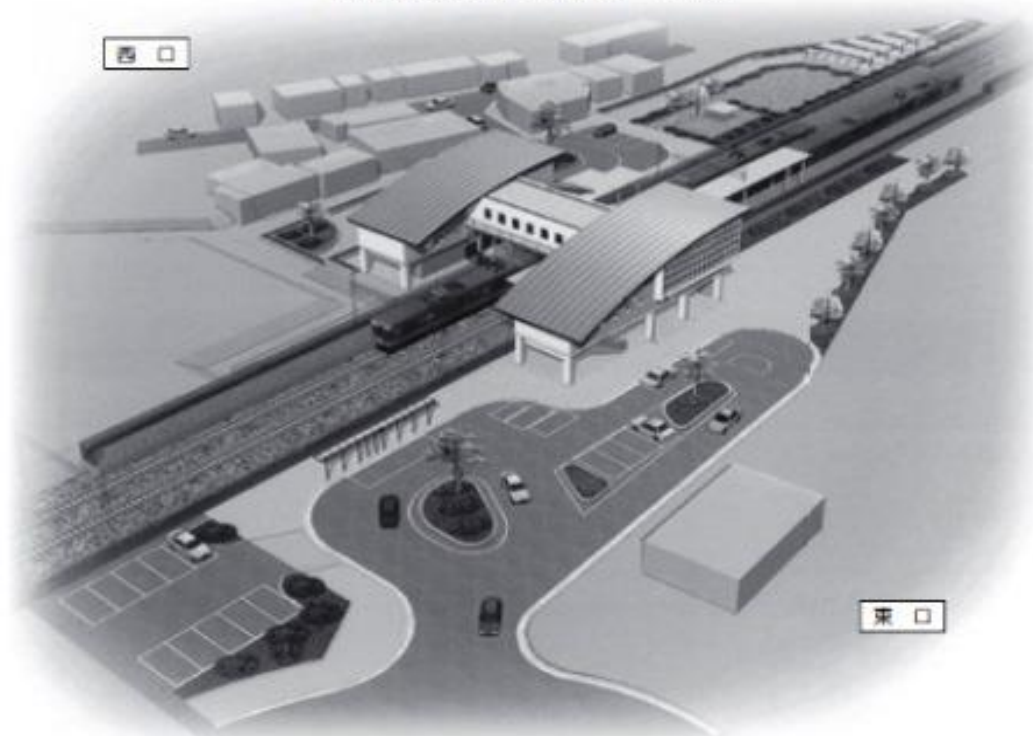
（4ページへつづく）

別表② 平成18年度有田川町補正予算

(千円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	14,475,000	1,976,187	16,442,187
住宅新築資金等事業特別会計	18,031		18,031
国民健康保険事業特別会計	3,401,161		3,401,161
老人保健事業特別会計	3,653,262	84,618	3,737,880
介護保険事業特別会計	1,686,255	12,341	1,698,596
簡易水道事業特別会計	824,284	261,581	1,085,865
農業集落排水事業特別会計	287,757	12,512	300,269
簡易排水事業特別会計	3,341		3,341
浄化槽事業特別会計	35,340	105	35,445
かなや明恵峡温泉特別会計	150,373		150,373
特別養護老人ホーム等事業特別会計	16,115		16,115
公営下水道事業特別会計	1,207,189	190,093	1,397,282
岩倉財産区管理会特別会計	59		59
粟生財産区管理会特別会計	867		867
城山財産区管理会特別会計	1,714		1,714
八幡財産区管理会特別会計	1,602		1,602
安藤財産区管理会特別会計	78		78
水道事業会計	181,285		234,547
合計	25,943,713	2,528,437	28,525,412

## 藤並駅改築計画イメージ図





**水道課長**

総トータル

で3町の事業費を上回らないということでもたまたま旧古備の水道料金が一番適正な料金となった。加入分損金は旧金屋と比べて13㎡で約3万円上がる。住居と店舗が同じ場合は、営業用となる。超過料金は細かく分けるのではなく、100㎡までを一般家庭用としておけば影響がないと思う。

水道法で5千人以上を公営企業で適用せよとなっている。有収率を上げるには、漏水調査に費用がかかり、技術もいる。専門家に委託して見つけてもらうことが必要。私の思いは88%に上げたい。

手数料徴収条例の一部改正についての質疑

**質疑** 張り紙や看板などの屋外広告物から手数料を取り規制するものである。規制地域の

定義はどうか。また規制物件の定義はどうか。政治活動や住民運動によるものについて規制の対象に入っているか。

**企画課長**

常時一定期間継続して表示されるもので一定の概念やイメージを伝達するもの。古備や金屋が指定区域。ただ工事中の看板、展覧会、公共物等の看板は除外される。

政治活動の看板は、届出が必要だが、手数料は免除となっている。

重度心身障害児者医療費支給条例の一部改正についての質疑

**質疑** 今回の改正により対象からはずれる根拠を説明されたい。

**住民課長** 医療費抑制の改革によるもの。今年の8月1日から65歳以上で新たに重度障害者になった方を受給

対象から除く。ただ老人保健の対象となり原則1割負担。現役なみの所得者は2割負担。

○公の施設における指定管理者の指定  
(別図③参照)



あまぎの里 (三田地区)

平成18年度

**町村議会**

**「議長会表彰」**



58歳

大岡憲治氏は、永きにわたり、旧清水町議会議長として、地方自治の発展に寄与された功績により表彰されました。

平成18年度

**「知事表彰」**



72歳

橋爪弘典氏は、旧金屋町議会議員として24年にわたり地方自治に貢献され、表彰されました。

別表③ 有田川町公の施設における指定管理者

施設名	施設場所	指定管理者名	同所在地
有田川町農林産物振興センター しみず農林産物振興センター	大字清水 1224 番地 2	財団法人有田川町 ふるさと開発公社	大字清水 1224 番地 2
有田川町生産物販売施設 山の家「しみず」	大字上湯川 921 番地 1		
有田川町生産物販売施設 高原の家「しみず」	大字楠本 1490 番地 53		
有田川町林業交流活性化センター 温泉健康館「二川温泉」・ 研修宿泊施設「白馬」	大字二川 823 番地		
有田川町健康管理センター 「しみず温泉健康館」	大字清水 1225 番地 1		
有田川町農林漁業体験実習館 本館「あさざり」	大字清水 1233 番地		
有田川町農林漁業体験実習館 別館「泉水」	大字清水 1225 番地 2		
有田川町野営場等林間休養施設 「コテージ」	大字清水 1075 番地		
有田川町野営場等林間休養施設 「バンガロー」	大字清水 1067 番地		
有田川町山の家 山の家「やすけ」	大字清水 1065 番地		
有田川町山の家 山の家「左大夫」	大字清水 1078 番地		
有田川町営キャンプ場 「遠井キャンプ場」	大字遠井 31 番地 2		
有田川町営キャンプ場 「久野原キャンプ場」	大字久野原 736 番地		
有田川町ふるさとふれあいの丘 「スポーツパーク」	大字清水 607 番地		
有田川町農林産物加工直売施設 「あらぎの里」	大字三田 664 番地 1	清水町農林産物加 工直売組合	大字三田 664 番地 1
有田川町生産物販売施設 「しらまの里」	大字宇井苔 213 番地 1	宇井苔区	大字宇井苔
有田川町農林水産物直売食材供給施設 「明恵ふるさと館」	大字金屋 322 番地 1	金屋町商工会	大字金屋 3 番地
有田川町林業活性化センター	大字修理川 261 番地 1	修理川区	大字修理川

# 町長にもの申す

## 一 般 質 問



こんなことが取り上げられました



登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	浦 博 善	・中学校の校区見直しを ・地籍調査課を金屋庁舎へ
2	林 道 種	・学力、体力の増加について ・運動公園の設置について
3	細東 正明	・国道480号線の安曇地区・花園岡のバイパス工事について ・町単独工事の入札の方法について
4	佐々木裕哲	・新町の農山村振興と観光振興について ・自然環境の保全及び美化運動について
5	尾上 武男	・18年度補正予算について ・あたご山の地すべりについて
6	殿井 堯	・各学校の空調設備について ・指定管理者について
7	森本 明	・高年齢者の雇用対策としての(社)有田川シルバー人材センターの活用と育成について

登壇順	質問議員氏名	質問事項
8	竹本 和泰	・過疎化に対応する方策について
9	湊 正剛	・有田川河川整備について
10	増谷 憲	・合併後半年経って、特に金屋、清水の町民からの声にどう応えていくか。 ・石垣郵便局で起こった強盗事件から危機管理の問題について ・小・中学校の環境整備について ・リハビリテーション医療対象者への医療打ち切りへの対応について ・病院入院者への食事負担について
11	橋部 重計	・農道舗装に対する町補助金助成を ・町道松原・川口岡の早期完成について
12	坂上東洋士	・ダム湖周辺整備と資源活用について ・教育行政について
13	堀江真智子	・子どもの相談ホットラインの開設 ・パチンコ店、出店問題 ・ゴミ問題について





## 合併の効果を最大限に発揮し効率よく 住民サービスを向上させるための提案!

浦 博 善

### 中学校区の整備を!

**質問** ワールドカップがドイツで開かれ、日本中がサッカーに燃え上がっているこの時、将来のJリーガー目指して、毎日練習にはげんでいる子どもたちは有田川町でも大勢いる。

吉備中学校は、生徒数も多く活気にあふれたすばらしい学校であり、休み時間や放課後には、生徒で運動場はいっぱいになる。このような状況ではサッカー部の新設は難しいことはよく分かる。できれば運動場を拡大してもらいたいが多額の予算と時間がかかる。それならば生徒数を減らす方法を考えたかどうか。吉備中学校へ通学している子どもの中には他の中学校へ通う方が近い子どももいる。現在の学区を見直し、生徒数の分

散をはかつてはどうか。

合併の目的は、合併特例債を使い公共事業を進めるだけではないはずだ。限られた予算の中でいかにして効率よく住民サービスの向上を進めていくかが課題である。経費を問わず現存の施設を有効利用することで住民サービスの向上させることができる一つの方法ではないかと思ひ提案する。



吉備中学校周辺小学校分布

**町長** 今の吉備中学校の状況から見てサッカー部をつくることは困難である。社会教育の中で何とかできないか検討していく。

学区の見直しは、地域の歴史、文化、保護者

の意見などの調整も必要であり、すぐにはいかない。子どもが自由に行きたい中学校を選択できる方法も含め検討していきたい。

**教育長** 将来的には地域住民、保護者の思いや意見を十分ふまえた上で適正化を検討していきたい。



### 地籍調査を 金屋庁舎へ!

**質問** 事務所は現場に近い所へ設置する方がよいのではないか。

吉備地区は、本年度で約9割が調査終了する。それならば、まだまだ調査地域を多く控えている清水地域にも近い金屋庁舎へ本課を置くほうが、

効率よく事業を進めていくのではないか。

**町長** 吉備地区はあと3年で全て終了する。金屋・清水地区はまだ何十年もかかる。本課の移動はすぐにはいかないが、今後の業務をできるだけ効率よく経費のかからない形で進めていくため見直しをしていきたい。

地籍調査状況表

	吉備地区	金屋地区	清水地区	全体
調査期間	昭和60年～	昭和63年～	平成元年～	
対象面積	35.57	118.53	177.68	331.78
調査済面積	29.58	31.69	29.63	90.9
進捗率	83%	27%	17%	27%

平成18年3月末現在

## 体力の増進、学力の向上に どう取り組むか



林 道 種

**質問** 町内小・中学校の学校教育に取り組む教育委員会の考えを聞く。また児童公園をつくる考えはないのか。町長の考えを聞く。

毎日、テレビや新聞紙上をにぎわしているサッカーを見る時、世界の選手との力の差が非常にあるように感じる。これは体力の差か、技術の差かと私なりに考える。

先日4月13日の読売新聞の和歌山版にこのような記事が報じられていた。見出しに、「児童生徒の体力赤信号」とあり、全国的に子どもの体力低下が懸念される中、県教委が県内の全小・中・高生を対象に実施した児童生徒の体力、運動能力調査で全種目の半数近くで04年度の全国平均を下回ったことがわかった。50m走と持久走などは、全学年で全国平均を下回るなど、1980年度の調査開始

以来のワースト記録が続出。教育関係者は「体力は、知力と精神力の基礎だけに深刻だ」と危機感を募らせている。

町内の小・中学校において全国的にまた県下のどのような状況か。また今後の取り組みについてはどうか。

現代の子どもたちは体力がないと言われるのはいろんな要素があると思う。その中の一つに場所の問題があると思う。藤並地区では運動公園がない。用をなさない池などを利用して公園をつくってはどうか。



ひょうたん池（藤並地区）

**町長** 全国的に和歌山県内の小・中学生の体力が低いことは知っている。その中でも町内の子どもの体力が低いということも聞いている。今後、町としても一生

懸命に取り組む。また運動公園についても適当な所を心掛け、つくっていききたい。

**教育長** クラブ活動を通して懸命に取り組むたい。



駅伝に参加する子どもたち





# 早期に有田・高野間の縦貫道路を

細 東 正 明



バイパス計画図

国道480号安野バイパスの進捗状況は?

質問 国道480号線、三田バイパス工事は、ま

もなく完成であるが、有田川町の東の玄関口である安諦地区(井谷、板尾、杉野原、押手)間は、カーブが多く、一車線道路の

ため狭く、大型バスほか交通機関は通行困難とされている。そこで安諦地区とかつらぎ町、花園間のバイパス工事に早期に取り組んでいただき、有田―高野線の縦貫道路の早期実現に向けて、強力な働きかけを行っていただきたい。そして実現に向けて、今年中には現地へ看板を掲げ、バイパスの早期実現を目指し、強力な体制で国・県へ働きかけられたい。

町長 480号線の開通については私も熱い思いを持っている。480号線は、有田地区だけでなく有田川地域に及ぼす影響は非常に大きく重要な道路である。本年11月に清水地区の三田バイパスが開通する予定だが指摘する安諦・花園間については、新たにバイパスとトンネルで対応する計画であるが、残念ながらいつするかなど決まってい

入札は旧町単位か

質問 3町合併後の工事の入札方法について、従来どおり吉備、金屋、清水と区分して行う入札の方法でされるのか。また、有田川町を一つとする広範囲な区域として入札するほうが望ましいのか。町の見解を問う。

町長 町の工事の入札方法については、当分の間は旧町単位で入札を行っていききたい。公共事業は減る一方ではあるが、できるだけ地元業者が行える工事であれば、地元業者に発注したい。

## 農山村振興と 自然をいかした観光策を！



佐々木 裕 哲

### 棚田の保全と 取組の現状

**質問** 金屋、清水地区に存在する棚田を農山村振興、観光両面から町づくりの一環として取り入れたらどうか。今日の観光は付加価値がなければ長続きしない。景観や温泉だけではダメだ。町には他所に劣らぬ棚田がある。金屋の中地区、延坂地区、生石地区、清水の沼地区、楠本地区、日物川地区、あらぎ島等、どの地区も写真コンテストを行ってもよい景勝地だ。この棚田を地区、行政、JA等が協力、支援整備し、オーナー制にて長期的な体験型の農業兼、観光として取り組んでどうか。

また、清流で育った清水米はブランドとして売れる。金屋・清水の山間地は「山・川・水」これをどう付加価値のあるものにするか、この地区の

将来にかかわっている。町長はどのように思い、どう取り組むか。

**町長** あらぎ島はみなさんが守ろうと取り組んでくれたからこそ、全国棚田百選にも入っている。棚田は歴史がある。今のうちに1ヶ所でも復活させたいというのが私の願いである。そのためにも地域の人々の協力が必要。国の補助金等も考えてみる。オーナー制も取り入れ、観光面と併せて取り組みたい。また、清水米もブランド化し、有利に販売できるように、地域のみなさんと取り組みたい。

### 「環境有田川の日」

**質問** 有田川は高野山に水源を發し、降った雨が深い山々に蓄えられ、豊かな樹々を育て、下流の農業や生活の支えとし

ての母なる川である。毎年6月は環境月間だが昨年度の有田1市3町の不法投棄パトロールデータによると、わが町は一般廃棄物131件中、54件、産業廃棄物が11件中、7件と出ているように大半が投棄されている。これは発見した分だけで相当数になる。私たちは自然環境を守る上でも、合併を期に「環境有田川の日」を設けてはどうか。例えば各家庭できれいな花を咲かせているのを見かけ



中地区の棚田

るが、心が癒されるものである。環境美化の取り組みとして「一軒一鉢運動」を呼びかけ、玄関先や道端へ花を置いていただければ、すばらしい花いっぱい町になる。公園をつくって花を植えるのもよいが、町民のみなさんが参画し、美化に取り組めば、不法投棄される心ない方もなくなる。ぜひ町長を先頭に呼びかけてほしい。

**町長** 各地区で美化運動に取り組んでいるが、統一して有田川町の日を定めれば、今後ますます多くの方々に参加してもらえるので検討したい。花いっぱい運動は素晴らしい意見だ。有田川町もふるさと作り補助金交付要綱の中で設定し、花いっぱい運動にも取り組みたい。また各地区みんなので取り組みできれば一軒一鉢を置いていただけるといい。





## 補正予算は十分か

尾上武男

### 補助金のほうほう

**質問** 今回の補正予算は合併して初めての内容のある予算であり、住民が一番関心を持っていると思う。

住民のくらしに対してどのような予算であるのか。福祉や教育の面でどうなのか。特に各種団体に対して十分な配分であるのかどうか。今日まで有田川町を支えてきたお年寄りや、今後、町を担っていく子どもたち、また町の発展を担う農林業の後継者たちへの補助金はどのようになっているのか。16年度決算と比較した場合、どのようなものであるのか。私はなぜこの質問をするのかと言うと、合併前に住民に配布した資料では、合併しても合併前と変わらない内容であった。合併後、各種団体への補助金はどうか

ているのか。

**町長** 18年度予算で福祉・教育・各種団体への補助金について、先の3月議会では骨格予算であったので6月補正で肉付けをさせていただいた。今まで経験したことのない約20億の補正になった。もちろん福祉や教育、各種団体に充分配分をしたつもりだが、具体的に1割カットで予算をつけている。今後、いろんな意味でカットしないしていきたい。

### あだも山の地すべり対策を

**質問** 現在、吉備バイパス工事を行っている堀倉地域の西側で地すべりが起こっている。先日も松坂県議、堀江町議、地元の方と現地調査しました。山の上の方で広く地すべりを起こしており、

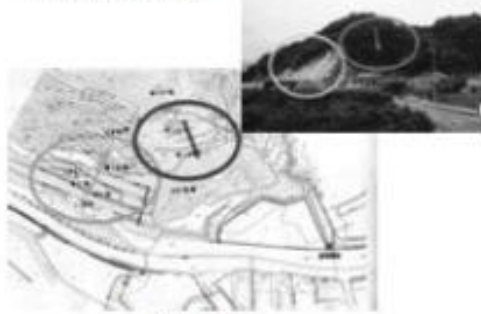
2ヶ月の間に4cmほどずれている。このままでは梅雨の大雨や、東南海・南海地震が起これば民家が多大な被害を被ることになる。町としてどのような安全対策を考えているのか。

危険を知らせるサイレンの試験に立ち会いましたが、テレビを見ていると聞こえにくく、各戸に受信設備を設置できないか。

7軒の民家があり、梅雨の大雨や東南海・南海地震が予想され、大変心配をしている。地すべりの状態を観測するシステムの設置や警報器を設置し、先日、テストを行ったが、家の中でテレビを見ていると聞こえず何の役にも立たず各戸に警報器を付けるよう県に申し入れ、設置することになっている。また非常時には、7軒の住民にきびドームへ避難をしていただくことになっている。



堀倉地内の工事現場



地すべり場所

## 小・中学校の空調設備は



殿 井 堯

**質問** 旧吉備町のときに、教育長等のご尽力をいただいで、吉備の小学校に空調が設備された。しかし現在、整備されていない学校について、予算の関係で難しい面があると思うが、小学校によって、汗をかきながら勉強する子どもと、涼しいところで勉強する子どもの格差があり、なるべく平等に勉強できる環境にしてあげてほしい。また防犯カメラの設備もあるところとなるところがある。これも指摘しておく。

**町長** 各学校の空調問題ですが、現在、吉備地区において藤並小学校、御堂小学校はすでに設置され田殿小学校はまもなくできあがる。金屋地区では、鳥屋城小学校、石垣小学校がすでに、空調を入れている。最終的に全校に設置するのが理想であると思う。ただ予算的な関係もあり、地域に



御堂小学校

よっては涼しいところもある。設置されていない学校については6月から8月にかけての3ヶ月ぐらいの湿度、温度を調査して全校に空調設備を付けていく方向で進めていきたい。

**教育長** 本町は県下でいち早く夏学期中の補習卒業を各校で実施していることもあり、空調設

備の全校設置を目標としている。計画的に継続し、推進したいと考えている。すでに未設置校において温度・湿度の測定をし、データ収集するよう手配済みである。調査結果をもとにできるだけ早期に財政当局へ予算要求していきたい。

**質問** 現在、町から管理委託を任されている団体が運営している施設は赤字経営になっているところが多い。この団体に施設の管理を委託して、2、3年後に赤字状態になった場合、町の方で面倒をみてほしいということではおかしいことにならないのか。きちっとした契約にしてほしい。委託するならば、一生懸命、汗水たらして民間と同じ考

指導員への対応は？



町民ふささと館

えで運営すれば、ある程度赤字が解消されると思う。

**町長** 今回17ヶ所あり、全て今まで任せていた所に委託している。公募するのが本来の姿ですが、今までのいきさつもあり、今まで通りにさせていたでいてる。5年間となつてはいるが1年ごとに実績報告を出していただき、赤字が続くようであれば、審査会等を設置し、そこで検討したい。できるだけ赤字が出ない運営をお願いしたい。





## (社)有田川シルバー人材センターの活用と育成はどうか

森 本 明

**【質問】** 本格的な少子高齢化社会を迎え、本県の高齢化率は全国では13位、近畿では1位と、全国平均と比較すると10年程度先行していると言われている。

さて、有田川町においても高齢化の一途をたどり、60歳以上の人口割合は、現在約33%強になっており、労働者不足は経済活動に深刻な影を落としている。また、ここ数年続く、団塊の世代のリタイア人口を合わせるにますます増加することが容易に予想される。そこで、将来にわたって本町における産業活性化を図るための、60歳代前半層を中心とした労働力確保、雇用就業対策を問う。

子育て育児サービス事業の実施に取り組むとともに、今後は企業、ハローワーク等の関係機関と、連携を密にして雇用の創出に努めたい。



ヘルパー講習風景

**【質問】** シルバー事業は、会員がいまままでの経験を活かし、いきいきと働くことにより、町が運営する脆弱な国保会計の財政基盤の安定にも貢献するものと思われる。そこで

シルバー人材センターの組織、運営等について問う。

**【福祉課長】** 金屋シルバーは平成14年から、吉備シルバーは平成16年に任意団体として発足し、三町合併を機に統合し、3月14日「社団法人、有田川シルバー人材センター」が正式に法人化されました。現在の会員数332人、60歳以上の健康で働く意欲のある方で年会費1200円納めれば会員になれる。仕事はいまままでの経験を活かし短期的、補助的な業務を行っている。

法人の運営費として、国から1,190万円、町から同額補助をいただき運営している。

**【質問】** 最近、毎日のようにメディアの世界から、子どもの痛ましい事故が報じられているが、現在シルバーが取り組んでいる

子どもサポート事業(学童保育、育児支援)を、強力に押し進めるべく特段のご支援をお願いする。

**【町長】** 三世代の同居を経験し、子育ての経験豊かな会員さんに頑張っていたいただき、みなさまに喜ばれる事業になるよう期待するとともに、成功するよう支援したい。



農作業風景

# 過疎化に対する方策を



竹本 和 泰

## 過疎化への対応は

**質問** 過疎化対策は、

それぞれの地域の特性を活かした産業振興、水道施設等のハード面の施策が当然必要であるが、同時に、そこに住む住民は高齢になっても住み慣れた土地で暮らしたいという願いを強く持っている。行政区域が広くなり山間地域は置き去りにならないか等々、不安を抱える人も多い。山間地域住民の信頼が得られる行政の推進、身近な行政の推進が必要である。町長の所見は？

**町長** 過疎地域も合併

によって不便のかららない状態におけるということとで合併に踏み切った。有田川町全体が発展し、町民が豊かに安らげるような町にしたい。

**質問** 行政との距離が

遠くならないよう、町長、

助役は、月に何回か金屋・清水庁舎に席を移して、住民の声を聞くという体制はどうか。

**町長** できれば週1回

私や助役が、金屋・清水庁舎へ出向き、町民の意見を伺いたい。

## 各種行事の企画と配属を

**質問** 各種行事は一種

集中ではなく、交通弱者や、過疎地域住民等も参加しやすい企画を求める。

**町長** 過疎地域住民の

方々も不便のないよう、今後検討していきたい。

## 小学校廃校後の校舎の活用を

**質問** 清水・金屋地域

において少子化が顕著で、小学校の廃校が増えている。山間地域の唯一の公共施設である学校は地域と共に歩み、学校行事等

を通じ、地域活動の要として中心的役割を果たしてきた。その学校がなくなることによる過疎化への影響は大きい。廃校舎を利用した公的事業への利用や福祉施設、都市との交流施設等による地域活性化への活用を求める。



草月小学校（休校校舎）

**町長** 廃校舎を利用し

た過疎地域の活性化に取り組み、早急にインターネット等で県外に発信し、都会の方の利用などいろいろな方面から地域の活性化につながるよう検討したい。

## コミュニティバス

**質問** 前回の議会で、

5月1日から運行予定との説明であったが、未だ実施されていない。いつから実施するのか、住民への周知はどうか。

**町長** 7月3日から週

1回、2往復で運行予定である。利用料金、停留所等々、住民への周知を徹底する。



コミュニティバス





## 有田川整備事業の進捗状況と今後の計画

湊 正 剛

**質問** 今年もまた梅雨や台風シーズンをむかえた。過去において忘れることのできない昭和28年7月18日の大水害がある。災害を体験した住民にとって、被害は最小限に止めた。有田川の堤防強化と河川の浚渫を強固に要望する。この要望は大水害後、毎年要請していますが、浚渫については何の進展もない。金屋丹生橋より下流の有田市に至る10kmは河床の堆積はもとより雑木は密林化し、爬虫類や害虫が生息し、環境の悪化は一目瞭然であると思う。

毎回繰り返し返しの要望ですが行政として、まず第一に、尊い人命と財産を守り環境の美化に努めるのが責務である。町当局はどのように対処するのか、今後の見通し、計画等の方針を問う。

**町長** この問題は長期にわたり関係各機関に要請をしている。特に浚渫に関してご指摘の通り遅れている。今後、早急に関係各位、また地域住民の方々と一緒に県・国に強く要望することを確約したい。近日中にその機会を求めていく。追ってその日をご連絡するので被害地域の役員さんや関係各位によりしく伝えていただきたい。

**質問** 有田川流域住民にとって河川は古代より被害も被るが、生活するにあたり、多大な自然の恩恵を与えてくれ発展に寄与してきた。しかし、ダムや堰堤の建設にとまない有田川の自然のサイクルが変貌し、河床の自然浄化が著しく阻害され、元の自然的有田川の景観を環境的にも奪い去っている。子どもたちの川への自然との触れ合いや、観光資源である鮎の湖上に対し、著しく阻害しました他の魚介類は激減し、ま



吉備橋～田船橋間では、堆積土砂は2mにも達し、暴雨による堤防の決壊が心配される。

さに死の川と化した状態である。

「故郷は今も変わらぬ山と川」の提言は、現在はどこを見ても見当たらない状況である。これもまた生活環境の変化にともない、自然林である落葉樹また植林の伐採で山の頂上まで舗装した道路を完備し、風力発電の設置等で自然環境の破壊が進み、短時間の集中豪雨でも多大な被害を被ることになっ

た。それは人的開発により災害を助長し拍車をかけると言っても過言ではない。有田川の増水により河川合流地点は家屋の浸水や田畑の冠水があり河床の浚渫は重要である。

町長の答弁は前回の答弁と変わらず今後、より強力な働きかけをし、汗を流してほしい。私たち地域住民も一生懸命頑張り努力したい。

(要望であり、答弁なし)



# 町民の暮らしを 最優先に



増 谷 憲

## 合併後の町民の 暮らしが

**質問** 合併後、金屋・清水の町民からいろんな声を聞くがどう応えていくか。  
**町長** 合併しない方がよかったという声を聞くが、合併したから今の水

## 強盗事件での警察の 対応が

**質問** 石垣郵便局で起こった強盗事件で保育園や小・中学校への対応はどうであったか。  
**町長** 警察から町へ連

## 小・中学校の 環境整備が

**質問** 小・中学校へのエアコンの設置にあたり、夏場の温度・湿度調査後、数値の高い学校から設置していくのか、来年度から設置するのか。  
**町長** 来年から順次、

## Uターン地域 打ち切りへの対応を

**質問** 適正規模の指針が出た。今後、地域住民や保護者の思いを尊重していきたい。  
**教育長** 保護者、地域のみなさんと相談しながら検討したい。

準が保てる。合併しなかったらどんなになっていったか、お声も聞きたい。  
**質問** 町長の歳費は減らすのか。  
**町長** 私の歳費を含めて検討する。私はある程度下げたものを示したい。  
**質問** 山崎助役の取り組む姿勢はどうか。  
**助役** まちづくりに取り組み機会を与えていただいた。町民から、いいところがないと耳にするが、住民負担という、悪い面ばかり目につき、効果が現れていない。半年では無理なこと。将来、合併をしてほんとはよかったですと言ってもらえるようにしたい。

絡が入ったのは40分後、いろんな対応をした。今後の課題として、警察からの通報が40分もかかってはならない。少年センターにもホットラインを設けて情報交換したい。  
**質問** 警察への対応を求める。また現場の声を十分くみ上げられたい。  
**町長** 現場の声を聞いて警察とも密に連絡を取れるようにしたい。  
**教育長** 警察からの情報により左右する。警察と十分相談する。マニュアルを再検討したい。

早く設置していく。  
**質問** 金屋中学校耐震工事はどうか。  
**町長** 今年度中に設計し、大規模改築の方向で進める。  
**質問** 鳥屋城小学校への進入路の整備はどうか。  
**町長** 用地は確保したい。早急に努力したい。  
**建設課長** 町道であり、補助事業で対応できれば今年の秋頃に申請し、来年以降、着手する予定。

**質問** 県教委の複式学級の解消について教委として地元を無視して進めることはないか。  
**町長** 保護者、地域のみなさんと相談しながら検討したい。  
**質問** 打ち切り後の対策ですが、改定された日数の延長や対象外の7項目の中へ脳血管疾患や運動器疾患を入れるよう働きかけていただきたい。また苦情などの相談窓口をつくっていただきたい。  
**住民課長** 意見書は県の指導、隣接町と調整をとり、また専門家の意見も聞き対応したい。  
**苦情相談窓口**は、福祉課か住民課、どちらでするか調整して決めていきたい。





## 町道・農道の整備を求める

楠 部 重 計

### 農道舗装、補助の 実現が不可欠

**質問** ①農道舗装に対する町補助金の助成についてを問う。農業推進事業の一環として、旧金屋町では50%の補助金を助成。有田川町においても継続事業として取り組まれない。

②17年度区長会から出された18年度事業要望、合併前の要望に対する町長の見解を問う。

③これまでの旧金屋町での農業推進、主要施策の農業費による成果は大きかったと思う。地域の実情も十分考慮に入れて取り組まれない。

**町長** 農業費の町単独事業は若干抑えているが、農道舗装は基盤整備の重要な問題として認識している。打ち切るつもりは全くない。旧吉備地区では関係者に生コンの現物支給でやってきた。

できるだけ安く効率よくできるか要望の路線を検討し、補正で考えていく。

**産業課長** 旧金屋町での17年度末の農道舗装（町単独）の実績は31路線、2409m、1800万円の事業であった。なお、18年度区長要望では83路線、9800m、7200万円の舗装要望がある。次の補正へ向けて取り組んでいく。

### 町道・松原・川口線の 早期完成を

**質問** 延長約52kmの間、川口側からは平成5年から12年度にかけて1280mが完成。また、松原側からは平成5年度より17年度にかけて約1kmが完成。この道路は地域間の交流とともに紀南地方へのアクセス道路として改良が進んでいる国道424号と霊峰高野山

につづく国道480号を結ぶ重要路線である。未改良区間の3kmは、財政が極めて厳しい中で高度な技術を要することをこ賢察たまわり、トンネル部分を県代行業業として要望してきたが、昨年からは県代行業業がなくなつたと聞いている。一日も早い完成を願う。町長の見解を問う。

**町長** この路線は、トンネルをつけるにしても多大な費用がかかり、県代行業業を考えたが、昨年からの事業もなくなった。何かいい補助事業を検討したい。いづれにしても早急にいかない。完成までの応急的な対応策として、1、2ヶ所の待避所を検討し、進めていきたい。



町道 松原・川口線整備計画（案）図

## ダム湖周辺整備と資源活用は



坂 上 東 洋 士

**質問** 二川ダム湖が完成したのが昭和42年頃であったと思う。当時は旧清水町でもダム反対闘争等いろいろな世間をにぎあわせたことがあった。当時、私も町職員として役場に勤めており、その世論工作のために御用学者が来てダム湖に砂利や砂が堆積しないと説明があった。私はそんなことはないだろうと詰めたところ最後に堆積するとう告白しました。現在、境川地区の少し上のところで県から譲り受けたところにキャンプ場があり、お盆ともなるとアウトドアということで多くの方が来られる。それより下流に多くの砂利や砂が堆積していることはみなさん方もご承知の通りである。これらの資源を活用し、その財源の確保と地域の若者たちの働く場所の確保の両面からなんとか砂利採取ができないか

検討を求める。  
通称おしどり岬（蔵王橋上流付近）というところが沼地区にある。この土地は町有地であり、この活用も求める。つまり観光立地の観点から世界遺産である高野山までの国道480号の整備促進と併せて後世にのこる長期的視野に立つての観光行政に取り組む町長の認識と所見を問う。

**町長** ダム湖が完成したのは昭和41年であり、39年を経過している。当初、県当局では百年位砂利はあまり堆積しないと書いていたが、現在では約6割ほど堆積をしている。川原元町長さんの時代にも砂利採取ができないうものか検討されたと聞いている。県の河川課や有田川漁業組合とも話し合いをしなければならぬ点もあり、今すぐにはとはいかないが2、3年間研究をさせていた



境川橋からおしどり岬までの堆積した土砂

き、何万トンという豊富な資源を前向きに活用していきたい。

また、ダム湖周辺整備については、私も観光面に力を注いでいきたいと考えている。旧清水地区、旧金屋地区の隅々まで全てを知っている訳ではないので清水行政局や金屋

庁舎の方へも助役と2人で月に何日かは出勤して文化や伝統等をいろいろお聞かせ願いたい。また有田川町全域の観光パンフレットを作成したい。その時には議員各位にもお知恵を拝借し、町内各地域の実情把握に努めていきたいと思っている。





## 子供のための環境整備を

堀江 眞智子

### 子供の相談 ホットラインの開設を

**質問** 昨年から発生しているいじめ問題について、教育委員会としての実情の把握と対応はどうなっているか。また、生徒が安心して学校に通え、地域や保護者から信頼される学校づくりのために、先生方の頑張りだけに頼るのではなく、教育委員会として、相談ホットラインを開設し、退職教員などの協力も得て、どんなことでも気軽に相談でき、学校とともに問題の克服を目指した活動に取り組むことが求められていると思う。

**町長** 何件かいじめ事件があった。保護者、学校が連携して適切な対応をしている。

**教育長** ホットラインについては青少年センターに開設し人員も配置していく。なお、直通電

話は322・5552

### パチンコ店の 進出計画を

**質問** 吉備庁舎の目の前のパチンコ店進出計画は、町民の懸念の場として愛されている「宗祇ロード」と呼ばれている道沿いに計画されており、町長の選挙時の公約の構想する町づくりからも相いれないものであり、また吉備中学校が近くであり、教育環境からみてもふさわしくないと思う。町長、教育長はどのように思うのか。また、この進出計画を断念していただけるよう、あらゆる努力をして関係機関に働きかけていただきたい。

**町長** 教育上好ましくない。進出については法をクリアしている中では駄目だとはならない。建設にあたっては派手に

ならないようお願いしていく。

**教育長** 教育上好ましくない。規制はできないが、出店後は見廻りなど確認していきたい。

### 「ゴミ問題解決のため」 町民の知恵と協力が

**質問** プラスチックゴミの回収を週1回にしてほしいとの声が多くある。またゴミ袋の種類が一部不足していると聞くと原因と対応はどうか。ゴミ問題の解決のためには、町民の知恵と協力が不可欠である。ところがゴミ袋が4種類になるなど行政主導で進めている。このようなやり方ではなく、町民の声を充分聞き反映していくという姿勢が求められていると思うが町長の考えは。

**町長** ゴミにかかる経費が膨大である。細分制することが減量化になる

とされている。女性の声を聞けと言うなら聞くが、ゴミの袋は減らさない。もっと細分制を進めたい。プラスチックゴミの回収は平成19年度から増やしていく方向で検討している。ゴミ袋は確かに一部の地域で不足している。早急に対処していく。



パチンコ店が出店される予定の吉備庁舎付近



### 道路整備の 促進と財源確保に 関する意見書

道路は、国民生活や地域経済を支える最も重要な基本的社会資本であり、その整備は、活力ある地域づくり、町づくりに必要な不可欠である。しかし、本県内の道路整備は全国水準に比べ著しく立ち遅れているのが現状である。

東南海・南海地震の災害時に、国道42号線の代替路となる近畿自動車道紀勢線の整備、特に、吉備・御坊区間の4車線化や、中部を縦貫する国道424号線の整備、世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」に通じる国道480号線は、最重要線として整備が急がれているところである。併せて町村合併に伴い

行政区域が大きくなり、一体として発展していくために旧町を結ぶ幹線道路整備が必要である。

そのため、昨年末に、道路特定財源の見直しに関する基本方針が示されているが、遅れている地方の道路整備が切り捨てられることなく、次の事項に特段の配慮がなされるよう強く要望する。

記

- ① 受発者負担による合理的な制度である道路特定財源の目的に基づき、必要な予算を確保すること。
- ② 地方の道路財源を確保するとともに、地方財政対策を充実すること。
- ③ 安全で安心な暮らしの確保や道路交通の円滑化を図り、地方の活性化や経済活動の発展を支えるため、幹線道路から市町村道に至る道路網の整備をより一層強力に促進すること。

### 求む!



広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真を、町民みなさんから募らせていただきたいと思えます。

有田川町の名所や風景などお気軽にご応募下さい。尚、勝手ながらお寄せいただいた写真は返却できませんのでご理解下さい。みなさんからのご意見、ご感想等もお待ちしています。

くわしくは事務局まで。

### 声のコーナー

藤並学童クラブでは、夏休みの参加児童が多いことが予測されます。

ボランティアで学童保育に参加していただける方を募集しています。

連絡先 藤並学童クラブ  
☎521-5686



藤並学童クラブの様子

### 傍聴に お越し ください



次の定例議会は9月の中旬ごろになります。議会では、みなさんの

生活に直結する問題を協議しております。ぜひとも傍聴にお越し下さい。お待ちしております。議場は議会棟の4階です。

### 編集後記

3月議会後に発刊いたしました創刊号に対して、町民みなさまからの反響が大きく、事務局に多数のご意見をお届けいただいております。この広報誌を広く、多くの方々にご覧いただき誠にありがとうございます。

今後とも充実したボリュームある紙面で議会の様子をお伝えしたいと思っております。ご意見・ご感想等ございましたら、ご連絡なくお寄せいただければ上記、「声のコーナー」でご紹介させていただきます。これから暑い日が続いてまいります。みなさま十分お体をご自愛下さい。

お問い合わせ  
☎521-2111  
古備庁舎4階議会事務局まで